

令和5年度学校評価（学校関係者評価）

○ 自己評価結果
【A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である】
A（4.0～3.25）、B（3.24～2.5）、C（2.49～1.75）、D（1.74～1.0） ※A=4 B=3 C=2 D=1で換算

○ 各領域の二重線枠に自己評価が適切にされているか等について、ご意見があれば記載願います。

○ 自己評価

領域		今年度の目標	目標達成のための評価の観点	■改善・充実の方策	目標の達成状況	A	B	C	D	
					割合					
総務	1	各分掌・学年との連携を密にし、校務・学校行事等の円滑な運営と充実を図る。	1	各分掌・学年と連携し、行事予定の調整や学校行事等を円滑に進めることができたか。	1 分掌主導の組織的な学校運営を推進している。今後も働き方改革やCAPD o・OODAサイクルを意識した教育活動に努める。	B 3.1	30	50	20	0
	2	P T A・同窓会活動などを通して、保護者・地域との連携に努める。	2	P T A・同窓会の役員会や総会等を円滑に企画・運営することができたか。	2 今年度は 感染症も収束し、学校祭等の行事において保護者や学校運営協議会委員等と連携した取組ができた。次年度も学校祭等の行事で連携した取組を実施していきたい。	B 2.9	10	70	20	0
	3	広報活動を活発に行い、長万部高校の様子を保護者・地域に発信する。	3	学校案内の作成や学校だより、ホームページ、Instagramの運用を円滑に行い広報活動を推進することができたか。	3 学校ホームページや学校だより、Instagram等で行事や学校の様子を掲載し、引き続き教育活動を発信していく。	A 3.6	60	40	0	0
	4	職務の円滑化に向け、環境整備に努める。	4	職務の円滑化に向け、職員室の環境整備や会議の運営、校内規定集の管理に努めたか。	4 Chromebook等のグループ機能を活用し、教職員間の情報交換を充実していく。	B 3.1	40	30	30	0
■学校関係者の意見→ （自己評価は適切か）			分掌業務等、学校の業務は外部から見えないため外部にも業務内容を分かるように伝えることが必要ではないか。分掌業務等、学校の業務について学校運営協議会等で説明するなど保護者等への発信に努めていただきたい。							
学習活動	1	基礎基本を充実させ「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善を推進する。	1	基礎的基本的な学習内容を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び教授方法の改善が推進できたか。	1・2 校内研修会や教科研修会への参加を推進するとともに I C T機器を活用した「個別最適な学び」を推進し、生徒の学力向上に努める。また、遠隔機器を活用し、他校生徒と授業等においての交流を実施する。	B 3.0	20	60	20	0
	2	個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、 I C T機器を効果的に活用する。	2	I C T機器の活用により、生徒が学ぶ意欲を高め、評価の改善及び個別最適な学びを進めることができたか。	3 地域の人材等を積極的に活用し、「総合的な探究の時間」をはじめ、各教科での探究活動を充実させる。	B 2.5	20	50	30	0
	3	地域との連携・協働を強化し、探究活動を一層推進する。	3	地域と連携・協働した「総合的な探究の時間」全般に関する連絡・調整、各種講演会、その他の学習の企画・運営を推進することができたか。		A 3.4	50	40	10	0
■学校関係者の意見→ （自己評価は適切か）			I C T機器を積極的に活用したり、地域と連携・協働している様子が分かる。今後も I C T機器を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現や地域と連携・協働した「総合的な探究の時間」の充実に努めていただきたい。							
生徒指導	1	基本的な生活習慣の確立を目指し、社会に貢献できる資質の向上を図る。	1	教育活動全ての場面において、基本的な生活習慣及び社会貢献の資質向上を図ることができたか。	1 生徒指導については、継続して分掌主導で学年と連携を密に図りながら共通認識をもって指導にあたる。	B 2.9	30	60	10	0
	2	特別活動を充実させ、地域との関わりを深め、主体性・協調性を養う。	2	地域・関係機関との連携を密にし、生徒の主体性や協調性を育むことができたか。	2・4 学校祭等の行事で、生徒が主体的に企画・立案する過程において、「なぜ」等の疑問を大切に活動を進めていく。	B 3.1	30	60	10	0
	3	いじめの早期発見・解決に努め、豊かな人間性を育む。	3	いじめに係る未然防止と早期発見、早期解決を実現し、生徒の自己管理能力を育むことができたか。	3 引き続き、教育相談や各種調査を更に効果的に活用し、いじめ等の未然防止に努めるとともにいじめを積極的に認知し指導を充実させる。	B 3.1	50	40	10	0
	4	生徒会行事や諸活動を通して連帯感や一体感を養い、本校生徒としての自覚を育成する。	4	生徒各自が計画・審議・実行に参加することによって自覚を促し主体性を育てることができたか。		A 3.5	50	40	10	0
■学校関係者の意見→ （自己評価は適切か）			いじめ等の早期発見・早期解決等、生徒が安全・安心な学校生活を送るため、地域や家庭との連携を密にするとともに、生徒の自主性や協調性を育むために地域との関わりをもつ活動を推進していただきたい。							
進路指導	1	小中高大の連携による「地域課題解決型キャリア探究」を推進する。	1	「地域課題解決型キャリア探究」の推進に向け小中高大の連携が実施できたか。	1 地域の方々と連携して小中高の総合的な探究の時間の研究を実施するとともに理科大のコーディネートプロジェクトと連携する。また、中学校と連携しキャリアパスポートを確実に引き継ぐ。	C 2.4	10	30	50	10
	2	保護者と進路情報を共有し、進路意欲を喚起させる等継続的できめ細かな支援を行う。	2	保護者説明会や三者面談等を実施し、保護者と共通理解のもと進路指導を実施できたか。	2 進路に関する保護者説明会や三者面談等の充実を図る。	B 2.8	10	60	30	0
	3	地域や関係機関と連携し、適切な情報提供を行う。	3	ハローワークや商工会等、地域との連携により円滑に進路指導を実践できたか。	3 保護者説明会を適宜開催し、関係機関と連携し、保護者や生徒にとって有益な進路情報の提供に努める。	B 3.2	40	40	20	0
■学校関係者の意見→ （自己評価は適切か）			小中高大連携についてはやや不十分である。行事や授業等における東京理科大学との連携や「総合的な探究の時間」における小中高合同発表会の充実に努めていただきたい。							
健康安全指導	1	健康の保持増進と健全な生活を営む態度の育成を図る。	1・2 様々な事態を想定した安全教育の工夫・充実が図られたか。心身の健康を意識し、自己管理能力を育むことができたか。	1・2 継続して保健講話の実施や保健だよりの配布により、自らの健康管理に係る意識の向上に努める。 3 教務部、学年と連携して、共通認識のもと学習環境の整備に努める。	A 3.5	50	50	0	0	
	2	健康・安全に対する意識の高揚に努め、自己管理能力を育成する。			B 3.5	60	30	10	0	
	3	学習環境を整えるために、地域と連携し、校舎内外の美化活動を推進する。	3		地域と連携した清掃活動等により、学習環境を整備できたか。	B 3.4	50	40	10	0
■学校関係者の意見→ （自己評価は適切か）			今後も生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるように、養護教諭と担任の連携、スクールカウンセラーとの連携に努めていただきたい。							
学校運営	1	保護者及び地域から信頼される学校づくりを推進している。	1	関係機関との連携及び学校だよりやホームページ、Instagram等を活用し、適切な時期に教育活動の成果等を伝えることができたか。	1 学校ホームページや学校だより、Instagram等で行事や学校の様子を掲載し、引き続き教育活動を発信していく。	A 3.5	50	50	0	0
	2	学校経営参画意識が向上している。	2	常に危機管理を意識するとともにスクール・ポリシーの作成等学校経営参画意識を高めることができたか。	2 職員会議や打合せ等において、日頃から危機管理について啓蒙するとともに、分掌や学年運営について、情報共有を図りながら、教員が目的意識を持って業務に専念するよう努める。	B 3.2	40	40	20	0
	3	日常的に研修を推進している。	3	各自がテーマを持ち、授業公開週間や校外での研修会、講習会等に積極的に参加したか。	3 授業改善についての校内研修会の実施や教科研修会への参加について啓蒙する。	A 3.5	60	30	10	0
■学校関係者の意見→ （自己評価は適切か）			広報活動につきまちは引き続き学校だよりや学校ホームページ、Instagram等で学校の様子を掲載して教育活動を発信していただきたい。生徒が安全・安心に学校生活を送るできるように、教員間での連携を密にするとともに危機管理意識の向上に努めていただきたい。							